



西尾いきものふれあいの里だより

6月号

2023.6.1 発行

さとやま

6月の里といきもの



今年の5月は、夏日を記録する高温もあれば肌寒い日もあり、寒暖差が激しい気候になりました。もう慣れっこになってしまった異常気象ですが、6月の里の菖蒲池では、今年も変わらず**ハナショウブ**の花が来園者を迎えてくれることでしょう。

様々な品種がありますが、花弁の付け根が黄色いので、他のアヤメ科の仲間と見分けることができます。端午の節句の菖蒲湯に使われるのはサトイモ科の**ショウブ**（菖蒲）で、それに葉が似ていることから花菖蒲と呼ばれます。ショウブは里山エリアで見ることができます。



ショウブ



ハンゲショウ

ビオトープ上の池では、ハンゲショウが群生しています。ドクダミ科に分類される多年草で、水辺や湿地を好み、地下茎でふえます。名の由来は、この花が咲く夏至から数えて11日あたりが七十二候の「半夏生（はんげしょう）」だからとか、花穂の周囲の葉が一部を残して白く変色するため、「半化粧」からだとか言われています。



白くなった葉は、花が終わるとまた徐々に緑色になっていきます。

同じ頃に咲く近縁の**ドクダミ**は、1つの花のように見える黄色い部分が花穂で、白い花弁のように見える部分が葉が変化した「苞葉」と呼ばれる部分ですが、ハンゲショウの白くなる葉は、苞葉に進化する前段階ではないかと言われています。

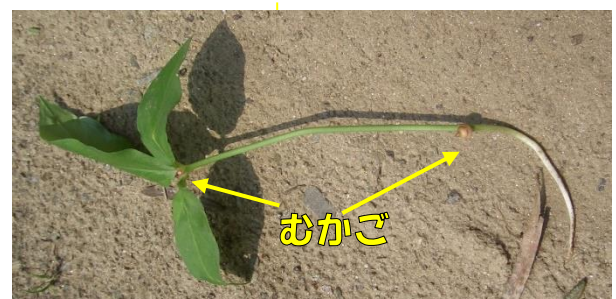


ところで七十二候の「半夏生」は、この時期に「半夏（ハンゲ）」が生えるため名がついたと言われています。サトイモ科に分類される多年草、**カラスビシャク**のことで、里では菖蒲園の横の柿畑で見られます。

同じサトイモ科の、ミズバショウやカラーにもある葉が変化した「仏炎苞」が、花穂を包むようにつきます。

めくってみると下部に雌花の集まり、その上に雄花の集まりがあり、その先にひものような付属体が長く伸びます。

雌花は花が終わると種子になります。また、根茎から伸びる葉の、葉柄の途中と葉の根元にむかごができてふえることができます。



6月はこんな生きものも見られます

センター裏や、里山エリア上の道では、ツツジ科の**シャシャンボ**の釣り鐘型のかわいい花が咲きます。ブルーベリーの仲間ということで、果実が見てみたかったのですが、毎年あまり実りませんでした。去年はセンター裏の木に鈴なりに実がなりました。



シャシャンボ



秋頃



キクガラクサ



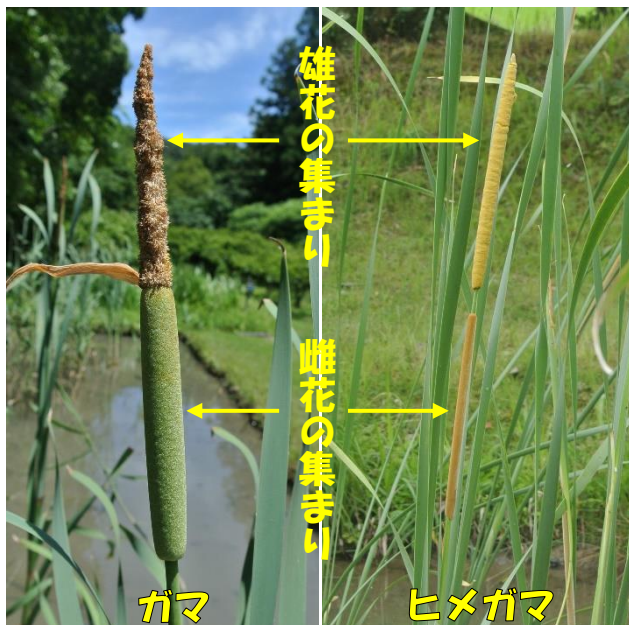
キキョウソウ



ミゾカクシ

センター裏のエアコンの室外機の近くでは、絶滅が危惧されている、**キクガラクサ**の花が見られます。葉の形がキクに似ていることから名が付けました。

棚田付近では、外来種ですが小さなキキョウのような**キキョウソウ**や、変わった形の**ミゾカクシ**の花が咲きます。



ガマ

ヒメガマ

毎年、一見花のように見えませんが、棚田の近くでは**ガマ**の、菖蒲池では**ヒメガマ**の花が咲きます。1本の花穂に、雄花と雌花が集まってつきます。ヒメガマは、雄花と雌花の間にすき間があります。雌花はそのまま秋まで残ってガマの穂になります。

トンボの里から万灯山へ向かう道では和蘭の**コクラン**が咲きます。

長円寺では、変わった付き方のボダイジュの花が芳香を漂わせます。釈迦が悟りを開いた菩提樹は、熱帯産のインドボダイジュで、温帯では育たないため、中国で葉の形が似ているこの植物を菩提樹としたそうです。

顔を上げると、タマムシがキラキラ光りながら飛ぶ姿が見られることがあります。



コクラン



ボダイジュ



タマムシ

梅雨の晴れ間、こんないきものを探して里を散策してみませんか。

5 月 の 行 事 紹 介



「棚田でお米を作ろうⅠ（田植え）」を5月21日（日）に開催しました。最初に講師から苗の植え方の説明を受け、里山の棚田に裸足で入りました。最初は足を取られて動きづらく、なかなか上手に動きませんでしたが、田植えの目印の線に沿って3～4本ずつ植えることができました。作業が終わると手足は泥だらけ、棚田の横を流れるきれいな冷たい水の小川で手足を洗い、さっぱりして終わりました。

次は、秋の収穫作業を楽しみに！ おいしいお米が出来ることを期待して帰路につきました。

6 月 の 行 事 予 定

4 日（日）	お花で冠・葉っぱでお雛様を作ろう	20 名	AM9:30～11:30	河江喜久代
--------	------------------	------	--------------	-------

内容 ～ シロツメクサ、タンポポなどでプレスレットや冠を、クズの葉とシロツメクサでお雛様を作ります。
里山に咲いている草花を使って、子どもと一緒に楽しく遊んでみよう。

7 月 の 行 事 予 定

23 日（日）	梅雨時のキノコたちを観察しよう	20 名	AM9:30～11:30	石川まゆみ
---------	-----------------	------	--------------	-------

内容 ～ 梅雨時は、キノコがたくさん生え、絶好の観察タイミングです。キノコの先生と一緒に里山を散策し、梅雨時だからこそ見られるキノコを探して観察してみよう。

30 日（日）	水辺の生きものを探そう	30 名	AM9:30～11:30	神 本 晃
---------	-------------	------	--------------	-------

内容 ～ 里山を流れる小川は水温も低く、中流域の矢作川水系には見られない生きものがすんでいます。同じ魚が、豊田の水源より上流の小川でも見ることができます。そんな里山の生きものを探してみよう。

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下**の場合は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候により**、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休 日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始[12/28～1/4] ◆発 行 西尾市環境部 環境保全課